



進路だより

No. 3

R2. 5. 14

「受験に必要なこと」

受験に必要なことって何だと思いませんか？

学力、努力、高校の知識…。様々なことが思い浮かぶと思いますが、絶対的に必要なことであり、みんなに忘れてほしくないことがあります。それは、「おうちの方のサポート」です。これなしでは、入試を受けることも進学することも非常に難しいです。おうちの方が君たちにしてくれるサポートは、大きく3つに分かれます。

①日常生活のサポート

これは言うまでもありませんね。君たちが一人の中学生として（もちろん受験生として）、日々充実した生活を送れるのは、おうちの方のサポートがあるからです。おうちの方が支えてくれてこそ、元気、健康なくして、受験は乗り越えられません。

②進路書類のサポート

今年は、進路に関する大事な書類がたくさんあります。期限までの提出を求められるものも非常に多いです。君たちとおうちの方でよく相談し、保護者名を書いてもらったり、保護者印を打ってもらったりと、最終的にはおうちの方の承認があって、正式な提出書類として認められます。だからこそ、学校でもらった書類はすぐにおうちの方に見せ、じっくり確認・相談したいですね。

③お金のサポート

受験にはお金がかかります。高校に合格後、入学するためにはさらに莫大なお金がかかります。以下に示したものが、高校入学までにかかるお金の目安です。おうちの方にも必ず、目を通してもらいましょう。

○進学にかかるお金について○ ※例年をもとにした参考資料です。変更、例外もあります。

〈受験料（1校あたり）〉

公立高校 - 2200円

私立高校、専修学校 - 13000～15000円

〈前納金〉

私立高校 - 20000円

専修学校 - 30000円

※公立受験まで合格枠を確保してもらうために払うお金

〈入学費用〉

公立高校 - 15万円程度（教材、制服、必要備品、入学料、学校諸費納入金など）

私立高校 - 35～50万円程度（入学金、教材、制服、必要備品、入学納付金、授業料など）

専修学校 - 45～60万円程度（入学金、教材、制服、必要備品、入学納付金、授業料など）

※1 これらのお金は、3月下旬～入学にかけて、どの家庭も必要になります。

※2 授業料に関しては、公立はどの家庭も月額9900円（年間11万8000円）、

私立・専修学校は年収590万円未満の世帯は年間39万6000円、590万～910万円の世帯は年間11万8000円の支援金があります。

※3 ※2は、国からの補助です。世帯によっては、県からの補助がプラスされ、さらに授業料が軽減されたり、入学金が減免されたりする場合があります。（詳しくは、私立高校のガイドブックをご覧ください。）

※4 ※2・※3は高校入学後に手続きに関する説明があり、それに従って、必要書類を提出すると、助成の対象となります。

※5 上に示した助成金は、各校によって還付される時期が違います。早い学校で7月ごろ、遅い学校では12月以降のところもあります。

受験は家族で立ち向かっていくものだと思っ先生は思っています。上に挙げたようにおうちの方にしかできないこと、そして君たちにしかできないことがあります。おうちの方の大きな大きなサポートに答える方法は、「受験にしっかりと向き合い、一生懸命努力すること」。これに尽きると思います。